



## 「スタートアップワールドカップ東京予選」登壇企業11社が決まる



2024年7月19日にグランドハイアット東京（東京都港区）で開催されるピッチ（短いプレゼン）コンテスト「スタートアップワールドカップ2024東京予選」に登壇するスタートアップ11社が決まった。

関連記事はこちら・LVMHの成長支援で世界の「ヘラルボニー」へ  
松田文登代表に聞く・スタートアップワールドカップ2024京都予選 ヘラルボニーが優勝・「スタートアップワールドカップ」東京予選 アイリスが優勝

世界決勝戦に進む2社目は

主催者で米シリコンバレーのベンチャーキャピタルであるペガサス・テック・ベンチャーズ（日本法人は東京都港区）が、約240の応募の中から書類審査で11社に絞り込んだ。

日本での予選は東京の他に京都（2024年5月21日に開催済み）と熊本（2024年8月27日開催予定）で開催され、それぞれの優勝企業が、2024年10月に米シリコンバレーで開催される世界決勝戦に出場する。

すでに京都予選で優勝した、知的障害のある作家のアート作品をデータ化するとともに著作権の管理などを行うヘラルボニー（盛岡市）が、決勝戦への出場を決めている。

決勝戦に進む2社目はどんな企業だろうか。

2023年は東京予選優勝企業が決勝大会で頂点に

スタートアップワールドカップは、75以上の国と地域で予選が開催され、3万社以上のスタートアップがエントリーを行う見込み。

米国での決勝戦で優勝した企業には100万ドル（約1億5000万円）の投資賞金が授与されるほか、日本予選では特別賞として、セガサミーホールディングス<6460>とジャパネットホールディングス（長崎県佐世保市）が、各予選にエントリーした全スタートアップを対象に、それぞれ5000万円ずつ、合計1億円の投資を行う。

東京予選では、会場とオンラインを合わせ約3500人が観戦する見込みで、災害や危機に関するリスク管理ソリューションを提供するSpectee（東京都千代田区）や、アフリカで中古車担保のマイクロファイナンスサービスを提供するHAKKI AFRICA（東京都港区）、人流予測サービスを展開するLocationMind（東京都千代田区）など11社がピッチを行う。

2023年は咽頭内視鏡システム

「nodoca」を開発したアイリス（東京都千代田区）が優勝しており、同社は「スタートアップワールドカップ2023」決勝戦でも優勝し、100万ドルの投資賞金を獲得した。

スタートアップワールドカップは、2017年に第1回目が開催され、東京予選は今回が6回目。京都予選

は2回目、熊本での予選は今年が初めてとなる。

「スタートアップワールドカップ2024東京予選」に登壇する企業11社は次の通り。

#### 登壇企業事業内容

##### アーシャルデザイン

(<https://www.a-cial.com/>)

アスリートやスポーツ経験者にフォーカスし、ITエンジニアとして派遣するサービスを主軸に、アスリート特化型の採用支援サービスや部活指導員をシェアリングするサービスなどを展開

##### オルツ

(<https://alt.ai/>)

個人やその集合体のライフログデータなどを分析することで、人の個性や意思をデジタル化し、クラウド上に配置してあらゆるデジタル作業をそのクローンにさせることを目的としたAI（人工知能）を開発

##### XANA LLC

(<https://xana.net/jp/>)

AI（人工知能）を活用して、誰でも簡単にアバター、空間、ゲームを創り、資産を売買することができるWeb3.0をベースにしたメタバース「XANA」を提供

##### シコメルフードテック

(<https://shikomel.com/>)

飲食店やホテルなど仕込みのメニューを、アプリを通じて簡単にアウトソースできるプラットフォームを運営

##### Spectee

(<https://spectee.co.jp/>)

AI（人工知能）を活用し、SNSや気象データ、自動車のプローブデータ、道路カメラ、人工衛星データなどをリアルタイムに解析、災害や危機に関するリスク管理ソリューションを提供

##### タスカジ

(<https://taskaji.jp/>)

家事をお願いしたい人と多彩な家事スキルを持ったハウスキーパーをつなぐ、家事代行マッチングサービスや家事代行の法人向け福利厚生プランを展開

##### Digital Entertainment Asset

(<https://dea.sg/>)

ブロックチェーン技術を活用し、ゲームや漫画などを楽しむだけで報酬が得られる、ゲーミフィケーションとトークンインセンティブを兼ね備えたプラットフォームを運営

##### HAKKI AFRICA

(<https://hakki-africa.com/>)

アフリカで、金融へのアクセスがないタクシードライバーに独自の信用スコアパスポートを利用した中古車担保のマイクロファイナンスサービスを提供

##### Yuimedi

(<https://yuimedi.com/>)

医療データの利活用を目的とし、プログラミングの知識がなくてもノーコードで簡単にデータクレンジングを行うことができる医療データクレンジングソフトウェアを提供

ランディット

(<https://landit.co.jp/>)

AI（人工知能）、衛星、クラウドカメラを活用した不動産データを基に、建設、物流、配達事業者向け、駐車サービスを展開

LocationMind

(<https://locationmind.com/>)

人流ビッグデータの処理や人流データの可視化、分析、AI（人工知能）を活用した人流予測サービスを展開

文：M&A Online記者 松本亮一